

序

山形県埋蔵文化財センターは、平成5年に財団法人として創設以来、また平成24年からは公益財団法人として、関係諸機関の御支援・御協力をいただきながら取り組みを進めてまいりました。本年度における当センターの事業については、計画した事業のすべてについて円滑に実施することができました。

その概要について申し上げますと、はじめに、調査事業においては、3遺跡3件の発掘調査と、延べ13遺跡の報告書作成のための整理作業を実施し、5冊の発掘調査報告書を刊行いたしました。

本県における近年の発掘調査の傾向は、県公共事業の減少が引き続き見られ、国による新直轄事業の高速交通網整備に伴う事業もピークを過ぎたことから、現在進められつつある高速道路の県境部分の整備やこれからの県の公共事業等の事業量を的確に把握しつつ、調査体制の整備に努めていかなければなりません。今後とも、責任ある発掘調査を基本とした調査研究に取り組んでまいります。

次に、普及啓発事業につきましては、諸事情により、一昨年度来大幅な事業縮小を余儀なくされましたが、例年好評をいただいております「埋蔵文化財センター参観デー『埋文まつり』」を、『考古学&遺跡発掘調査のお仕事参観日』と改め、規模を縮小してではありますが実施することができました。その他、ホームページによる情報発信や調査遺跡における発掘調査説明会の開催、考古学講座の開催のほか、ホームページ上での公開ではありましたが、広報誌『埋文やまがた』の発行などを通して、埋蔵文化財の調査研究の成果を県民の皆さまにお知らせしてまいりました。また、職員を派遣しての講演や体験活動、調査研究発表等は、従来通り実施してまいりました。今後とも埋蔵文化財保護の重要性の周知や、埋蔵文化財を通して古代の人との心の交流の場を県民の皆さんに提供するという基本姿勢を以て、普及啓発事業を推進してまいります。

山形県埋蔵文化財センターでは、これからも「公益」という言葉の重みを職員一人ひとりが胸に刻み、次世代を担う子供達に地域の伝統文化の大切さを伝えるため、あるいは誇りと自信の持てる地域づくりの一助とするため、さまざまな機会を活用して、県民共有の文化遺産としての価値ある埋蔵文化財を後世に伝えて行けるよう、職員一同、一層研鑽を重ねていく所存であります。

平成31年3月31日

公益財団法人山形県埋蔵文化財センター
理事長 廣瀬 渉

目 次

I. 管理運営概要

1. 沿 革	3
2. 組 織	
(1) 役員及び評議員	3
(2) 職制及び人員	4
(3) 組 織	4
(4) 職 員	5
3. 施 設	6

II. 事業概要

1. 調査業務	7
(1) 調査遺跡一覧	8
(2) 調査遺跡の概要	
藤島城跡（第7次）	10
川前2遺跡（第5次）	12
中野目Ⅱ遺跡（第2次）	16
2. 普及・啓発・研究等業務	
(1) 研修等	
全国埋蔵文化財法人連絡協議会事業への派遣	22
(2) 普及啓発	
①センター公開事業	22
②考古学講座	23
③来所者	24
④調査説明会	25
⑤職員派遣等	26
⑥資料貸出	29
⑦資料掲載許可	31
⑧研究紀要	32
⑨出版物	32
⑩ホームページ	32
(3) 情報処理	
収蔵図書データベース	32